



平成28年度

家庭学習 のてびき



「共育」クローバープラン

神明小学校

小学校の学習は、将来自立して生きていくための基礎となるものです。とくに「読むこと」「話すこと」「書くこと」「計算すること」などは、「意欲的に取り組む力」とともに社会人として欠かすことのできない「生きるための力」です。

学校で学んだことを確実なものにし、さらなる力として発揮できるようにするためには、家庭と連携した「家庭学習の習慣化」が大切になります。

そこで、家庭での学習や生活について、お子さんと一緒に考え、見直していくための参考資料として、「家庭学習のてびき」を作成しました。ご家庭の事情やお子さんの実態に合わせてながら、子ども自身が学習機に向かう時間をつくり、心を落ち着かせて学習に取り組めるように、ご活用ください。

学力アップのための家庭学習チェック

基本的な生活習慣

- 早寝、早起きの習慣や規則的な排便など、基本的な生活習慣が身につくようにしていますか。
- 朝食をしっかり取るように働きかけていますか。
- テレビやゲームの時間は決めていますか。
- 次の日の学習用具等をそろえるなど、自分のことは自分でさせていますか。



子どもとのコミュニケーション

- 学校の様子や友だちのこと、将来の夢や親の体験などを語り合う機会がありますか。
- 良いことをほめ、自信をもたせるようにしていますか。

静かで集中できる学習環境づくり

- 決まった時間に、決められた場所で静かに集中して学習できるようにしていますか。その時は、家族もテレビやゲームをその時間にはしないようにしましょう。
- 学校からのお便りやプリント、学習の記録などに目を通し、お子さんの学習の様子を理解していますか。

これらのことを毎日続けることが大切です

今年度より、毎週火曜日を家庭学習の日、毎学期1度家庭学習週間を設定しています。子どもたちの家庭学習への意識を高めていけるよう、学校でも子どもたちの取り組みの良さを紹介していきます。ご家庭でもご協力よろしくお願いたします。

1・2年生

《家庭学習のめあて》

基本的な学習の習慣を身につける

「早寝早起き」「規則正しい食事」「朝の排便」など基本的な生活習慣を身につけることは、学習習慣の定着につながります。

学校での学習状況を見ながら学習内容や方法を決め、できたことは大いにほめて意欲を引き出しましょう。

学習の特徴

- ・「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「身の回りの整理整頓をする」といった基本的な学習習慣が身につくようにします。
- ・「読む」「聞く」「話す」「書く」「計算する」などの基礎的な内容を学習します。
- ・家庭学習での留意点は生活と関連したものが多く、具体物を使ったり、実際に体験したりする学習がたくさんあります。また、繰り返し練習することで力がつく内容も多くあります。

おうちの方の援助のコツ

- ・机の回りの整理をして、静かな中で落ち着いて学習できるようにしましょう。
- ・学習時間を決め、学習した内容を確認してあげましょう。
- ・学校からの連絡やお便り、明日の準備などを一緒に確かめるようにしましょう。
- ・一緒に買い物をしたり、時計を読んだりするなどの生活体験を増やしましょう。

家庭学習での留意点（学習時間のめやす：15分～30分）

毎日
続
け
ま
し
よ
う

こくこ

- 楽しみながら大きな声ではっきり音読しましょう。
- 教科書だけでなく詩や短い物語文、説明文を音読しましょう。
- 音読に慣れてきたら、感想を書いてみましょう。
- 「、」「。」に気をつけて読みましょう。
- 文字は、書き順や形に気をつけてていねいに書きましょう。
- 子どもの興味や関心に応じた本を周りに置きましょう。
- 読み聞かせをしてあげるととても大切です。

さんすう

- 初めはゆっくりでも正しくできるようにしましょう。
- 具体物を使って考えられるようにしましょう。
- まちがいのわけを見きわめ、もう一度やり直すようにしましょう。

そのほか

- 楽しかったことやうれしかったことなどを、毎日の日記にたくさん書けるようにしよう。
- 音楽の鍵盤ハーモニカの練習や生活科の動植物の観察も大切です。
- なわとびやかけっこなど体を適度に動かすことで、体力や根気をつけましょう。

3・4年生

《家庭学習のめあて》

自学の習慣を身につける

好奇心が旺盛で行動範囲が広くなり、「やる気」や「根気」が伸びていく時期です。

自立心が芽生え、自分でやろうとすることも多くなりますので、時として口答えや反抗が見られることもあります。

特定の学習に対する苦手意識が出始めることもあり、自信を持たせたり、やる気を起こさせたりするような温かい声かけや励ましの言葉が大切です。

学習の特徴

- ・「社会」「理科」や「総合的な学習の時間」といった新しい学習が始まり、学習する内容も広がります。
- ・国語辞典や漢字辞典、地図帳等の使い方を覚え、調べ学習をすることが多くなります。
- ・算数では、四則計算（＋、－、×、÷）の基礎基本の学習を発展させます。分数や小数などの抽象的な内容も出てきます。

おうちの方の援助のコツ

- ・準備や片付けなど身の回りのことを手助けなしでしたり、自分で学習することを決めて自主的に学習したりしていけるように励ましましょう。
- ・社会や理科で学習する地域の文化や産業、自然などにふれる機会を持ちましょう。
- ・学習に個人差が出てくる時期でもあります。人と比べたりせず、本人のがんばりをみつけてほめましょう。

家庭学習での留意点（学習時間のめやす：30分～60分）

毎日続けましょう

国語

- 「、」「。」に気をつけ、はっきりと声に出して音読をしましょう。
- 場面の様子や人物の気持ちを考えながら、詩や短い文章を正確に読み、自分の考えを書きましょう。
- 漢字は正しい書き順で「とめ、はね、はらい」に注意し書きましょう。
- 国語辞典や漢字辞典の使い方に慣れるようにしましょう。
- いろいろな種類の本を選んで読みましょう。

算数

- かけ算やわり算などの計算が正しくできるように繰り返し練習し、丸つけやまちがい直しも正確にできるようにしましょう。
- 問題の考え方や筆算の手順などを図や絵を用いて言葉で説明できるようにしましょう。
- 三角定規や分度器、コンパスの操作に慣れましょう。

その他

- 計画的に学習し、まちがったところをもう一度解いてみる、教科書の大事なところを書き写すなど、自分なりに勉強の仕方を工夫しましょう。
- リコーダーの練習をしたり、地域の様子や自然を調べたりしよう。
- 日記に発見したことや感じたことをたくさん書けるようにしましょう。
- 体を意欲的に動かすことで、体力や根気をつけましょう。

5・6年生

《家庭学習のめあて》

自主的な学習の習慣を身につける

考え方や考える内容が大人に近くなり、論理的な思考や抽象的な思考ができるようになってきます。自立心もさらに伸びてくるので、時には大人に対して自分の意見を強く主張することもあります。また、委員会活動やスポーツ活動などで忙しくなり、時間に余裕がなくなって生活のリズムが崩れることもあります。

目標を決めて努力させ、ほめたり、励ましたりしながら、自信とやる気を持たせることが大切です。

学習の特徴

- ・学習内容が多くなり、筋道を立てて考える力や抽象的に考える力、広い視野が求められるようになります。
- ・整数、小数、分数の四則計算、文や漢字の読み書きなど中学校につながる学習が多くなります。
- ・家庭科の学習が始まり、自分の生活全般を見直し、衣食住の基礎基本を学びます。外国語活動では、自分から進んで相手に語ったり相手の思いを感じ取ったりしながらコミュニケーションできるようにしていきます。

おうちの方の援助のコツ

- ・「早寝・早起き」「テレビやゲームの時間」「学習時間」「朝食を食べる」など生活習慣を定期的に見直し、家事の分担を責任もって進められるようにしましょう。
- ・子どもの将来の夢や希望、勉強の目的や内容、学校の様子やニュースなどを話題にしながら、子どもの考えや思いを語らせましょう。

家庭学習での留意点（学習時間のめやす：45分～90分）

毎日続けましょう

国語

- 情景や気持ちを考えながら読むなど、めあてを決めて音読したり、詩や俳句・短歌の暗唱をしたりしましょう。
- 漢字の構成や字形を意識して練習し、作文に活かすようにしましょう。
- いろいろな種類の本を選んで読みましょう。
- 国語辞典や漢字辞典をいつも手元に置き、使い方に慣れましょう。
- 新聞記事に親しみ、内容を読み取ったり、わからないことを調査したり、自分の考えを定められた文字数の中で書いたりしましょう。

算数

- 計算の手順や考え方などを線分図などを用いて言葉で説明できるようにしましょう。
- まるつけやまちがい直しをし、間違いのわけを確認しましょう。

その他

- 教科書やノート、プリントなどをみながら学校での学習を振り返って大事なところをまとめたり、積極的に調べ学習をしたりするなど、自分なりに学習を工夫してみましょう。
- 日記に社会や学校での出来事の自分の考えを書けるようにしましょう。
- 体を積極的に動かすことで、体力や根気をつけましょう。